2015年上半期　②「和光3・11を忘れない」支援活動報告（簡素版）

和光３・１１を忘れない実行委員会
事務局長　　齋藤大介

2015年3月12～14日

「和光3・11を忘れない」イベントレポート

１　「漂流　ふくしま」写真・作品展（１２日～１４日）

3月１２日（木）

１時から５時まで、１９３人の来場者。色々な来場者をガイド。

例えば、ここの掃除のおばさん。「私の前妻の息子が仙台で ３・１１の時、社長に言われて３階まで資料を取りにいったら、津波で、屋上まで逃げて助かったのよ。娘も福島県石川町に今も暮らしているけど、不安がってる。」

例えば、高校の先生夫妻、「なかなか思っていることが言えない環境になってきて、原発のことも本当はどうなのか」。高校生３人連れは、バトミントン部。相 馬で東洋大バトミントン部の学生が地元の子供たちに教えに来てた」というと、「へえ～！」。

そして、藤田館長。また、スタッフとして参加してくれた方々も 色々。１０００人チェロ高橋さん、レスキューボランティアさんなどなど。初日、無事終了。

3月１３日（金）

朝から、写真展示と、他の場所をうろうろ駆け回ったが無駄な時間も多く、他の人まで忙しくしてしまった。反省！夜は、明日本番のオケ・合唱音あわせ。石巻 から合唱団、慶應志木高ワグネル、和光市内中学生、宮崎県えびのや群馬県太田からもグループ初参加。凄い数。まだまとまらない。でも、凄い。明日が楽しみ。

3月１４日（土）

朝９時、「漂流　ふくしま」写真・作品展に、昨晩宿泊された石巻合唱連盟有志のメンバーが、「団体見学」。重鎮、新田、山田先生らも、良い笑顔。

やはり、ほかで忙しく、午後からはレポート不能。ただ、８時すぎまで「撤収作業」が続き、お疲れさまでした。

２　和光３・１１つながりカフェ（１４日）

レポートできるほど、は席につけず、見ていられなかったので、部分的なレポート。

１０時、「和光３・１１つながりカフェ」開始。１０時１５分すぎから、「３１１　有志」合奏団伴奏で、６曲の童謡、２曲のタンゴ。いつもなら、チェロで参加している私は、司会。チェロは、いつもはヴァイオリンかヴィオラのKさん。私より上手い。会場は、主に東北各地から和光市近隣に避難している方々が前列。なんとなく、仮設住宅での演奏とカブる雰囲気。
予定の１１時前に終わると、アンコール！これは予期せぬ出来事。で、クンパルシータ。

１１時からは宮城県亘理町の津波語り部。
１時から対談。私は、後半の「詩人宮尾さんと歌人三原さん」の対談を少しだけ覗き、
また、ほかの裏方仕事に。

３　和光３・１１を忘れないコンサート

3月１４日（土）

１１時すぎから、ステマネ、舞台誘導スタッフなどと、指揮者、ソリスト、４００名の合唱団、８０名のオーケストラの「着替え」「荷物置き場」の楽屋などの設定打ち合わせ。そして、１時大ホール入場可能となり、一気に待機していた合唱、オケメンバーが入場。１時半、ステマネからの入場退場などや並びなど の諸注意。

そして、練習開始。ホワイエでは、プログラムへの各種イベントチラシ挟み込みが始まる。２時すぎ、大ホールでは第９。３時には、受付廻りのスタッフや中学生も１５名ほどのボランティア、支援グッズ販売コーナースタッフも５０名揃う。

４時２０分、長蛇の列で、予定より開場を１０分早める。当日券だけで１４０枚売れる盛況。結果、９５０人の入場で満席。開演前の「さくら募金」も、中学生の奮闘で、「お札がいっぱい」。

５時開演。

冒頭、石巻市文化協会西條会長からのご挨拶。そして、合唱２５０人のフォーレ「レクイエム」。あれ？練習と段違いの響き。４０分間の演奏が終わる。

指揮者 佐々木さん、２０１２年３月の石巻での演奏同様、終わったまま、「祈り」へ。
場内も、オケも「沈黙のひととき」。そして、万雷の拍手。

１５分休憩。ホワイエは、「買い物客」でごったがえす。

６時１５分、再開。
今度は、一転、邦楽２曲。「ふるさとの四季」。同様２曲の、男声、女声、混声、小中学生、慶應志木高ワグネル、と５色の色彩。
舞台は、２５０人、２階袖席 に、方や「慶應志木」、反対側には女声、男声各５０人ずつが、まるで４ｃｈスピーカーのサラウンド音響のように、観客席に降り注ぐ、ワンダーランド。懐かしい曲の数々に観客の口元がかすかに動く。
そして、「カンタータ大いなる故郷石巻」。小杉太一郎氏の「伊福部メソッド」の土俗的なリズムから、主に男声の斉太郎節、女声と児童の石巻風景、混声の石 巻祝祭（賛歌）の大スペクタクル。エンディングの盛り上がりは、オケ、合唱とも「咆哮」。会場の床がまるで地震の様に揺れる、という初めての体験。

最後は、ベートーヴェン第９、第４楽章。練習番号M。あの有名な主題、ドイツ語で、児童も、中学生も、高校生も歌う！

そして半数近くが志木、所沢、多摩、 川口などの第九の会メンバー。しかも、この合唱団、なんと高音パート（ソプラノ・テノール）のほうが、低音パート（アルト・バス）より多い、という珍しい 構成。
なので、高音が鳴り響き、凄い音量。エンディングも決まる。オケも、前日や本番前練習では、イマイチだったのに、本番ではピタリ。大拍手。「ブラ ボー」とともに、「ありがとう」の大きなかけ声。

アンコールも、それまで２階袖席にいた合唱メンバーが通路に並び、また、今度は観客と日本語で「歓喜の歌」。
終わると、またあちこちから「ブラビー」「ブラボー」そしてまた「ありがとう！」の大声。そしてスタンディングオベーション。感動が溢れた。

４　交流会

交流会。でも、和太鼓の運搬や舞台撤収作業チェックなどやること満載で、交流会に大幅遅刻。すでに石巻関係の代表や和光市長のご挨拶、乾杯は終了。 本来は、司会補佐、のはずだったが、仕方ない。

暫くして、「慶應志木高ワグネル」の合唱。「観客」の余りの熱狂で、アンコール。次は、「コールN」。県立 長崎北高にわずかだが南高、佐世保高の在京同窓生の合唱団。
そして、「カンタータ」作曲小杉太一郎氏のご長男、さらに同級生やファンご挨拶。

さらに、ソリスト、合唱指導者の一言。指揮者、「スマホのメモ」見ながらの挨拶に場内沸く。また合唱。安積フィメール・コール東京。そして、最も遠隔地から見えた、宮崎県えびの市からの６人。えびの第９の会。
締めは、榑松実行委員長。もう顔真っ赤。でも独特の語りで会場沸く。９時半前、閉会。
３０分ぎりぎりで撤収。１０時、石巻へ「合唱団」バス出発。

一方、宿泊で、先に飲んでいる石巻市民交響楽団たちと、合流。但し、こちらはノンアルコール。川越行き東武東上線１２時２８分で朝霞のホテルへ帰るという。自宅着１２時４０分。長～い一日、終了。

和光３・１１を忘れないイベント感想集

１　「漂流　ふくしま」写真・作品展＆

「表現者たちの３・１１」対談

・詩人　宮尾節子さん

和光市「和光 3.11 忘れない」の表現者枠で。和光文化センターにて浪江出身の歌人の三原由起子さんと対談をしました。スライドを見ながらの対談で 「黒いフレコンバック（放射能廃棄物の袋）がどんどん積み上げられて、ふるさとの海の、水平線が消えて行くのが悲しい」と言った、三原さんのことばが、心に残りました。

「浪江町」がなみえちょうではなくて「なみえまち」であることなど、そう呼ばれてはじめて景色が見えることなど、地元のかたに教わって、はじめて知ることがとても多いです。

こちらに避難しておられる会場の方の声も聞けて良かったです。その方は「わたしの町は、帰宅はできるようになりました。

けれど、水は山から引いてくる水しか使えない、その山はまだ除染されてないのです…」というお話には胸を衝かれました。

「マスコミに伝えられていないことは、たくさんあります。もっと、深 く、わたしたちを、知ってほしいです」と訴えられていました。まだまだ、問題は山積みのようです。

写真家の高木さんと映画監督の佐藤さんのお話も、マスコミでは知る事ができない事実がつぎつぎ出て来て、学ぶことが多かったです。

展示ホールの写真や実物大のフレコンバックの展示や防護服なども話題を集めていました。貴重な体験をさせていただきました。

また大ホールでは、「被災地から今回初めて石巻市民交響楽団と石巻合唱連盟有志合唱団を招き、和光市近隣オーケストラから５０人、首都圏１８の合唱団から の３５０人と合わせ、計４００人規模の大合唱を展開する。曲目は石巻ゆかりの４曲。フォーレの「レクイエム」を皮切りに、「春の小川」など聞き慣れた童謡 １２曲が入った「ふるさとの四季」、石巻出身作曲家の「カンタータ大いなる故郷石巻」。ベートーベンの「第九」も大合唱する。」という大きなコンサートが ありました。大変すばらしかったです。会場全体が歌声の渦となった、混声合唱の「第九・喜びの歌」が、特に圧巻でした。

＊＊＊

震災を忘れないということは、故郷（ふるさと）を忘れないということだと、思いました。

「ふるさと」という言葉は、みんなのものです。

ふるさとという場所 は、みんなのものです。。「ふるさと」をひとが、忘れられるわけがない、と思いました。。ふるさとを、忘れないでいたいです。

貴重な会に参加させて，頂いてありがとうございました。忙しくお世話くださった、スタッフの方々にも、感謝です。

・歌人　三原由起子さん

昨日は和光市のサンアゼリアで開催された、「3.11 私たちは忘れない」に参加しました。「つながりカフェ」では、ほっき飯と豚汁といちご羊羹をご馳走になりました。とても美味しかったです。

「表現者たちの 3.11」では、映画監督の佐藤武光さんと写真家の高木成幸さんの対談のあと、詩人の宮尾節子さんと私で、言葉と表現について対談しました。

４年が経ち、経済や建設業の復興ばかりが取り上げられ、その情報だけを受け取る人が増える一方、人間の心が置き去りになっていることや、マスコミが取り上げないからこそ、被災した一人一人が自分の置かれている立場や気持ちを言葉にして、伝えていく大切さなどを話しました。感受性豊かな宮尾さんと話していると、心の奥の言葉が引き出されていくようで、緊張も徐々にほどけていきました。宮尾さんの「種まき」や「手を半分でも挙げたら、その手を取ることができる」という言葉に、深く共感しました。

会場には避難している方や、和光市の方々などがいらしていて、立場は違っても、心を閉ざさずに、話し合って、理解し合っていく大切さを実感しました。

対談の後、和光市の方が「このイベントに来る前と後では考えが変わった。まだまだなんだと思った。それを、知ることができてよかった。」と話してくださっ たり、被災地をサポートしてくださっている方が「若い人たちにもこういう話を聞いてもらいたい。」と仰ってくれました。私自身、心細くなっていたのですが、参加してくださった方々に励まされました。みなさまに心より感謝申し上げます。

・写真家　高木成幸さん

「３・１１　私たちはわすれない」のフィナーレは石巻からの大合唱団とオーケストラ演奏で幕を閉じた。昼の部は私たちの対談と写真展＆短歌・詩の発表でした。

いずれも満員御礼が出て、入場申込み締切まで出てしまったイベントでした。全てボランティアで当企画は運営され、また多くの市民の支援もあったと聞く。何よりも「帰りたくとも帰れない」 原発避難者が地震と津波で変り果てた故郷と３・１１前の故郷の写真を比較しながら観ている姿に、そしてため息をするフクシマの方に写真の説明は全く不要で した。最後にこのイベントを企画・運営をされた関係者各位に深く御礼も申し上げます。そして参加頂いた皆さん、有難うございました。

・映画監督　佐藤武光さん

アゼリアホール８時３０分～展示場片付け２０時、少々、くたびれました、

和光市片付け班３人が、残っててつがってくれました、びっくりしました、高木さんも老体にむち打って、頑張ってました、僕は、手伝うふりして、居ただけでした、

《ボランティアスタッフ》

・横田さん

たいしたお手伝い出来もできず、すみません。コンサートもみれず残念でした。受付にて、しみじみとこれから&まだまだなんだなと思いました。短時間 でしたが、来場された地元

の方などがありし日の町の様子を写真をみて唇を噛みしめたり涙される姿をみるにつけ、我が身の無力さを感じました。また、微力ながらもなにかあればお手伝いさせていただければと思います。ありがとうございました。

《「写真・作品展」会場ノート》

・仙台市高橋さん

「写 真の力　音楽の力　共通するものとそうでないものがあります。お互い、それぞれで支援を続けていけたら、少しずつでも世の中も変わると信じています。ありがとうございました。」

・和光市　ニーマさん

「震災４年がたちます。町はまだ住めない。でも未来を見つめていたらいいと思った。」

・浪江町出身　柳川さん

「浪江の風景を見ると泣けてきます。早く復興し、お墓参りにも行きたいで す」

・板橋区　Ｔさん

「一瞬にして地獄図となった原発は地上から滅亡させねばと思いました。浪江町民の苦しみに涙が流れてきます。なんとか乗り越えねば、と思います。」

・横浜市　安藤さん

「故郷が失われることは恐ろしい。私の本籍は、大堀村大字小野田。数日前、二本松市にある浪江町の役場から取り寄せることができました。」

・広野町出身　多田さん

「変わり果てたけど懐かしい景色を思い出しました。忘れないでいようと思います。」

・北本市　渡邉さん

「写真を見てまだ肌寒い震災当初を思い出しました。何も出来ず、また、日常が戻ると、つい忘れてしまいますが、まだ復興は終わっておらず、震災はまだまだ続いていることを改めて痛感しました。もっともっと多くの方々に写真、詩、短歌を見て頂くべきです。」

２　「つながりカフェ」

・「３１１有志」合奏団　近藤さん

３月 14 日（日）、「和光 3.11 忘れないチャリティーイベント＆コンサート」に参加させて頂きました。和光市に避難されている方や、周辺のボランティア の皆さんと一緒に、唱歌や昔の歌謡曲を歌って頂きました。タンゴは２曲だけやらしていただきました。自分で言うのも気恥ずかしい気がしますが、思いの他好評のようでした。タンゴの強烈なリズムの躍動感が、伝わったのでしょうか。演奏後数人の方から「良かった」、「編曲が良かった」という言葉をいただいたり、わざわざ差し入れまで頂きました。これを励みに気持ちを新たにして、今年も５月から始まる仮設訪問に行ってきます。

３　コンサート

石巻からの参加者

・石巻市文化協会　会長　西條允敏さん

合唱団は全員無事帰って参りました。（お陰様で体調を崩した者もおりませんでした。）
お土産までお心配りをいただき大変ありがとうございました。この度は、大変素晴らしいコンサートにお招きをいただきまして本当にありがとうございました。準備段階からのご苦労、時々刻々と送られてくるメールにより知ることが出来ましたが、その大変さに頭が下がる思いでした。一つ一つのワークを緻密に丁寧にこなされているエネルギーには感服、いや驚きでもありました。本当にご苦労様でした。
石巻関係の方がたくさんいらしたのには驚きでした。ＰＲが行き届いていたのでしょうか。プログラムの中身が濃くて大変疲れました。と同時に充実感も感じさせていただきました。出演者も含め石巻を立てていただきありがとうございました。私の挨拶がなければもっと良かったと反省しています。着替えでいっぱいでパニックになってしまいました。
今後も交流を続ける中でカンタータ「大いなる故郷石巻」の公演が出来ればいいなと思いました。真剣に検討したいと思います。その時はご相談したいと思いますのでよろしくお願いいたします。沢山お話ししたいのですが、今度お会いしたときに譲り、まずは御礼と帰石の報告とさせていただきます。本当に有難うございました。
榑松実行委員長様をはじめとし、スタッフの皆様によろしくお伝え願います。

《オーケストラ》

・石巻市民交響楽団　副団長　Ｋさん

いろいろお心遣いいただきまして、心より感謝申し上げます。いろいろご迷惑をおかけしたこともありましたが、とても良い演奏会で我々も大変感激いたしました。いつまでもお世話になってばかりはいられませんが、今後とも末永く演奏を通して交流が続けられればと思っております。次回は５月の末に女川でまたお目にかかれるかもしれませんね。楽しみにしております。取り急ぎお礼申し上げます。

・コンサートマスター　Ｈさん

斎藤さん、何から何まで本当にありがとうございました…思い出いっぱいの、素晴らしいコンサート&オフ ステージでした m(__)m
こちらは千本松牧場経由で！４時頃仙台宮城インターに到着しました。石巻のメンバーはそのままさらに１時間の移動でした。こちらも、東京滞在中に応援してくれたみんなにゆっくり報告メールしたいと思います(^^)

ゲスト

・指揮者　佐々木克仁さん

さて、今回は、高い演奏レベルだけではなく、すごく内容のある演奏会になりました。
こんな震災関連の演奏会が他にあったでしょうか。被災地や石巻に寄せる実行委員、スタッフ、出演者の皆さんの想いが本当に一点に集約されましたね。
四年目でだんだん世間的には下火になってきている震災、和光は違いますね。
私も及ばすながらではありますが、展示ホール、小ホールと見させて頂いてから、その想いを演奏会に乗せました。本当に実行委員の皆さんにはお世話になりました。よろしくお伝え下さい。安心して風邪などひかないで下さい。皆さんとのご縁。本当に大切なものを頂きました。

ソリスト

・テノール　渡邊公威さん

昨日のコンサート、大変お世話になりました。 齋藤さんのお陰で、素晴らしい感動的なコンサートになったと思います。 どうもありがとうございます。 今日はさぞかしお疲れのことと思います。 ゆっくりお休み下さいませ。

・ソプラノ　渡邊かれんさん

3/14(土)埼玉県和光市の和光市民文化センター サンアゼリアにて「和光３・11 を忘れない」チャリティーコンサートがあり、私は第一部のフォーレ「レクイエム」ソプラノソリストとして出演させて頂きま した！首都圏合唱団と石巻からの合唱団総勢 400 人の大合唱、そして、首都圏オーケストラと石巻市民交響楽団によるスペシャルオケ。震災から４年。それぞれの思いが、ホールで一つとなり、心がとてもあたたかい気持ちになりました。指揮者の佐々木克仁先生、共演者の皆様、実行委員の皆様、コンサートに関わった全ての皆様、ご来場下さった皆様、本当にありがとうございました！
私は２年前まで埼玉県に住んでいましたが、現在は故郷の石巻に住んでいます。今回は石巻に来てから初めての遠方での本番ということで、子供たちも一緒に連 れてきました。和光に行く途中の電車の中では、７歳の長男が、リュックをどこかに置いてきてしまい、なくなってしまったり、二人とも具合が悪くなってし まったり、「疲れた～」と泣いたり、夜にはあんなに楽しみにしていたホテルに着くと、５歳の次男は「やっぱりお家に帰って寝たい～」と大泣きしたり…。 色々ありましたが、ボディーガード&子守り&荷物持ちのじいじ様が付いてきてくれたおかげで、無事に本番を終えることができたので良かっ たです(*^.^*)ちなみにリュックは和光市駅のとなりの成増駅に届いていて、帰りに無事手元に戻りました！リュックの中に迷子ふだを入れててよかっ た～(笑)

首都圏ゲスト

・和光市長　松本武洋さん

長い長い実行委員会から始まって撤収まで、ありがとうございました。
「ふるさとの四季」で会場が一気に一つになりましたね。
311 を忘れないチャリティーコンサート、後半は源田俊一郎「ふるさとの四季」。二階席を含む 400 人の迫力の演奏でした。
今年は本当にたくさんの方々にお越しいただけましたね。
今後とも、付き合いでチケットを買っていただくだけでなく、ご来場いただき、共感の輪を広げるとともに、買っての支援、募金の支援までつなげたいですね。

首都圏オーケストラ

・ホルン　Ｓさん（所沢フィルハーモニー管弦楽団）

お疲れ様でした。皆さまの、おかげで、私たちも、都内のオケの有志の方々や石巻交響楽団の方々ともご一緒でき、演奏できましたこと、嬉しく思いました。各々、違った所属団体の有志による演奏会でしたので、とりまとめが大変だったことだとお察しいたします。事務関係や、ご指導などで、本当に色々とお世話になりました。ありがとうございました。今後の、皆さまの、ご活躍とご健康をお祈りしております。これからも、よろしくお願いいたします♪

・トロンボーン　Mさん（尚美学園大学）

14、15 と２日連続のトロンボーンの本番が無事終了しました！15 日の本番のあと、疲れて寝落ちしてて、この時間になって目がパッチリ…
14 日は私にとって初のオケ中でした。お呼びしていただいたときは、飛んで跳ねて喜びましたが、実際、そんなに自信もなく、前半の練習ではお引き受けしたことを後悔していたんです。でも、周りの声をかけてくれた方々が本当に優しくて、演奏の技術とかよりも、このオケで楽しみたいなと思うようになりました。3.11 オケは心の温かい人ばかりでした。この方たちのおかげで最後は笑顔で終われました。また演奏できたらいいなぁ～(*^^*)
15 日は障がい者施設での演奏でした。吹奏楽でしたが、こちらもトロンボーン！！オケの余韻からか、音のなりがいいと思ったのは私だけだったみたい(笑) 利用者さんを見ると、ソーシャルワーカーを目指している私にとって、心がワクワク♡演奏よりも、話がしたい感がいっぱいでしたが、人見知りの私は、そんな こと実行できずに終わりました(T_T)これを持って、私はこの楽団を辞めることになりました。理由は、自分の生活基盤と合っていなかったことです。毎回 の車での移動が負担になっていて、そこまでして行かなくてもいいのかなと思った次第です。きっと、これから新しい出会いがあるでしょう！
１カ月前に、音楽活動を休むとか言っていましたが、音楽に関するお仕事がヒョイッと舞い込んできました！これは断るわけにはいかないゾッ＼(^o^)／

・打楽器　Ｓさん（みずほフィル）

何から何まで、本当にお疲れ様でした！ この度は、早くからお声掛け下さり、ありがとうございました！　齋藤さんのお陰で、素晴らしい演奏会になり、感動しました！　５００人位の人達を纏めるのは、 とっても大変だったと思いますが、大成功の時の感動も、ひとしおですよね。　是非、カンタータ石巻全曲の実現、楽しみにしております！　また、楽器と奏者 と一緒に参りたいと思います～。(^o^)/ステマネのお二人、本登記素晴らしいサポートで、助かりました！(^o^)/

・第２ヴァイオリン　Ｍさん（元石巻市民交響楽団）

先日は本当におつかれさまでした。演奏会を無事に感動の元に終了することができ、齋藤さんを含め実行委員として動いてくださった皆さまに、心からお礼を申し上げます。
大人数なので、リハーサルまでは最後までうまく行くか心配でしたが、本番の佐々木先生の指揮に力があり、皆の気持ちがまとまっていたように思いました。自分はついていくのがやっとでしたが^^;いつかまたこのような機会で、福島の現状や震災のことを伝えて行くことができたら良いですね。遅くなりましたが、本当におつかれさまでした。お誘い頂いてありがとうございました。どうかゆっくりなさってくださいね。

・第２ヴァイオリン　Ｗさん（鶴見管弦楽団）

先日は、3.11 の会に参加させていただきまして本当にありがとうございました。
実行委員の方のご苦労があっての会だと、皆様に感謝します。
当初は、参加できるか直前まで迷っておりました。（仕事で）忙しくて、なかなか練習できなかったからです。でも、練習に参加して、懐かしいメンバーに再会し、とても嬉しくなりました。白石さん、久保さん・・・　今回新たに仲良くなった方もできました。
そして、何より合唱とコラボしたときの感動、本番の感激、こんな出来のこんな薄い気持ちの自分が参加することに恥ずかしくなりましたが、とても多く の感動をいただきました。
お誘いしていただき本当にありがとうございました。
来年もぜひ参加させてください。
同じ曲がいいな・・・なんて（ ^ ^ ）これからも、よろしくお願いいたします

・ヴィオラ　Ｋさん（俊友会管弦楽団）

今日は和光 3.11 を忘れないコンサート、お疲れ様でした。舞台に上がっていても、客席にいても、追悼や復興への強い想いが感じられました。イベント的に大成功だったと思いますし、音楽の力も改めて認識しました。私にとっても忘れられない経験となりました。
帰ってから、今日のプログラムを隅から隅まで読み直しました。
本当にたくさんの団体から参加があったのですね。関係者の皆さまによろしくお伝えください。そして、この機会を与えてくださった大介さんに心から感謝します。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。

首都圏合唱参加者

・合唱指導　佐藤圭さん

明日は、和光で演奏会です♪人生初の 250 人以上の合唱指導をさせていただきました♪立ち代わり入れ替わりで､400 名！？兎に角スゴいです♪皆様､経験豊富な方々ばかりで、指導どころか、沢山教えていただきました♪3.11 を忘れないコンサート♪やっぱり僕は相馬に助けられているんだな☆関東初演の「カンタータ大いなる故郷石巻」是非、聞きに来てくださいませ♪

・児童合唱指導　谷禮子さん

お疲れ様でした&ご苦労様でした！素晴らしい人の和と、演奏会の成功・・ありがとうございました。中学生の合唱参加者は みなさん　素晴らしい体験ができました。もし、来年があるのでしたら　もっと参加者が増えることと思います。一人でも多くの若者と　この感動と、あつい想いを共有したいです。２中からは　校長先生や先生が来てくださり、生徒の写真を撮っていられ先生と生徒の関係が見れて　嬉しかったです！

311 を忘れないチャリティーコンサート、後半は源田俊一郎「ふるさとの四季」。二階席を含む 400 人の迫力の演奏でした。お借りした「村祭りの太鼓が使用した祭り半纏:3 着」ですが、出来たらクリーニングしてから返したらいかがでしょうか。

一つ、合唱参加者からのご意見をお伝えいたします。演奏会段取りは　早くから決めて、しっかり周知してから 練習に入るようにとのご意見です。特に、前日のアンコールの練習のときの動きは突然だったので・・と話していられました。段取りが出来てからの練習でないと、参加者は減るでしょうと言われてとりあえず、私は出来ないとのこと。

《女声》

・ソプラノ　Ｓさん（さいたま市民合唱団）

お疲れさまでした。本当に大変なお仕事だったと思います。「実行委員ニュースＮＯ１６５」というのがそれを物語っていますね。たくさんのお客様を見て、そしてお誘いした参加者の方たちの「参加してよかった」という言葉を聞き、ホッとしました。取り急ぎ御礼申し上げます。

・ソプラノ　Ｋさん（所沢で第九を歌う会）

本番のティンパニ素晴らしかったです。歌っていて心にズーンと響きました。ありがとうございました。15 日に行われた所沢合唱連盟の研修会は、 源田俊一郎先生をお迎えして行われたのだそうです。ピアニストは奥様の泰子先生だったとのこと。所沢に住みながら合唱連盟とはご縁がないので昨日知りました。参加していたら演奏会の事お話ししたかったなぁ…。

・ソプラノ　Ｙさん（コールN）

お疲れ様でした。準備から本当にありがとうございました。「ふるさとの四季」ではロずさんでいる方や、子供たちの声にうなずく方が会場に多くみられ、何だかジーンとしてしまいました。ゆっくり休む暇もない（今日も練習ですね）と思いますが、体調に気を付けてください。
土曜日は和光市サンアゼリアでの【和光３・11 を忘れないコンサート】に参加させて頂きました。ご来場頂いた皆様、ありがとうございました・＊¨＊・.。。☆*･゜
いつも１歳の娘を連れての練習で、娘はもう既に第９を覚えたかもしれないですね(笑)？でもどうやら、ママの出ていない第１部のフォーレで力尽き、第２部 はパパと２階ロビーでねんねしてたそう(๑・´ω｀๑)ふるさとの四季が良い子守歌になっちゃったんだねー♪ちゃんと練習に出られればフォーレも歌いた かったな。。。
写真はリハーサル風景。娘はコンサート中に寝ていたので、その後はご機嫌で夕ご飯しに行きました🍴ピースが上手になり、今日のスタバの飲み物を撮影中にも横でカメラが向いていないのにピースしてました✌

・アルト　　Mさん（安積フィメールコール東京）

演奏会後、懇親会群馬県太田からいらっしゃった方とお話ししました。石巻の体育館でも歌ったとか。こういう出会いが嬉しいです。実行委員の谷さんと記念撮影。今回のご苦労は並みのことではなかったと思います。本当に素晴らしい演奏会でした。ありがとうございました！

・アルト　Kさん（所沢で第九を歌う会）

今回のイベントでは、非常にお世話になりました。行き届かない点等あったかとは思いますが、とても充実した時間を送ることができ、本当に感謝しています。昨日、石巻の方からいただいたサバ水煮缶ですが、所沢組は最後まで残っていたこともあり、たくさんいただいて帰ってきました。石巻の方からは「宣伝してくださいね！」って言われましたが、今夜ちょうど所沢第九の飲み会があり、参加メンバー（10 数名）に配って来ました。
飲み会に参加した所沢第九の合唱指導者である田中豊輝先生が、ナント木の屋さんの知り合いということで、震災時の木の屋さんの話などもしてくださり、今日参加したメンバーはそれぞれ、本当にありがたい気持ちで水煮缶を持ち帰ることとなりました。
石巻の方にお礼とご報告をしたいのですが、こちらでは連絡先がわかりませんので、齋藤さんからお伝えいただければと思いメールをしております。これからも何かお役にたてるようなことがあればお力になりたいと思っていますので、またご連絡いただけるようお願いいたします。本当に、ありがとうございました！！
(^o^)(^-^)(^O^)(-_^)(^o^)(^-^)(^O^)(-_^)(^o^)(^-^)(^O^)(-_^)
齋藤さん リハ前だったか（石巻の参加者で「木の屋」社員の）チェロの方ご紹介されていましたよね 田中先生が　何缶だかわからなくなったものを　缶にある番号頼りに選り分けてそれを売って会社をの立て直し費用にあてたっておっしゃっていました そうして今ある立派な缶詰　本当にありがたく食したいと思います

《男声》

・バス　Ａさん（おおた混声合唱団）

昨日 14 日、和光市民文化センターでの「3.11 を忘れない」コンサート。
私はフォーレのレクイエム(舞台)ベートーベンの第九(袖席から参加)に合唱参加。
客席はほぼ満席状態。「ふるさとの四季」「カンタータ大いなる故郷石巻」は初めて聞く曲であったが、なかなか良い曲だ。合唱に参加団体の「慶応義塾志木高ワグネルソサエティ男声合唱団」50 人は袖席参加であったが、素晴らしい演奏を聴かせてくれた。男が男に惚れた。大いに満席して帰途についた。
裏方仕事は言語に絶するものだったと思います。本当にありがとうございました。 裏方といえば、舞台のひな壇を作る時、実に的確に指示を出してくれたホールの上嶋さん。若い彼女にも感謝です!!・

・バス　Ｆさん（志木第九の会）

今回は素晴らしい企画に参加させていただき、ありがとうございました。感動しました！
また、幅広い企画で、これだけのことをやり遂げられた貴兄に、敬服いたします。
今後ともよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました！

・バス　Ｋさん（志木第九の会）

昨日はコンサートに参加させて頂き、有難うございました。私の知人の女性が二人来ましたが、あんなに素晴らしいコンサートとは予期していなかったと言っていました。
鈴木一男君は小杉君の曲を聴いて、思わず目に涙が出たそうです。話に聞くと、斎藤さんは 3.11 以後足しげく東北の支援に行かれ、その間の交友が、和光での小杉君のカンタータの演奏に繋がったそうで、2013 年の石巻のコンサートにも和光の合唱団も参加され、斎藤さんご自身はオケのセロを弾かれたそうで、私は客席にいましたが、斎藤さんの企画力、行動力に敬服しました。このような企画の一部に参加させて頂き、厚くお礼を申し上げます。 音楽会に来てくれた若い女性の一人の感想です。ご参考まで。
「期待していた石巻は本当に雄壮な曲で、こんな表現、ちょっと稚拙で恥ずかしいんですが最後の方では日本地図から石巻が立ち上がって宇宙にまで飛んでいくような景色が思い浮かび歌のあとでは東映映画の岩に砕ける波のシーンを感じていました。音楽を聴いていて映像を思い浮かべることはあまりないので自分にとって興奮だったらしく、日付が変わるまで寝付かれずそれでも今朝は七時に家を飛び出て、楽しい気持ちいっぱいでお仕事しています。」
もう一人の、年配の女性の感想です。
「今日は、教会へご一緒する姉妹方に、昨夜の素晴らしいコンサートについて、逐一説明して、大いに驚かせてあげました。300 人以上の合唱は聴いたことがないとびっくりしていました。一つひとつの演奏が、皆様の声に魂が込められていましたので、力強く、聴衆の心に届きました。石巻という都市の奥の深さ、文化に根ざした豊かさを、失われた街々

や、人々の住まわれたところであると、深く思うことができました。協賛された、第九のメンバーの方々や、慶応義塾高等部の男性のコーラスの声が、会場に清らかに響いていました。本当に心から、感動させていただきました。お招きいただき大変光栄でございました。」

・Ｓさん（慶應志木高ワグネルソサイエティ男声合唱団）

長期間の準備と運営お疲れ様でした。私は 3 年連続で志木ワグとして出演させていただきました。お客さんだけでなく、出演した私達も被災地のことを考える貴重な機会でした。ありがとうございました。

コンサートスタッフ

・司会　Ｎさん

本日はありがとうございました。電車時間のため交流会の途中で失礼させていただきました。最後まで居られず残念でしたが、いろんなかたとお話しできて楽しかったです。
皆さん面白い話を持ってて語る語る。またぜひお手伝いさせてください。司会以外でも。
齋藤さんの活動報告が面白くて(打合せ前にパン屋に寄ったり、銀行口座開設比較したり)もっと読みたくなりました。あと、いろんな所にどんどん出かけるフットワークの良さに驚きました。ではまた。

・映像記録　Ｓさん

今宵は、音楽を愛する同胞と再会できた。音楽の力で人の心に訴える。素晴らしいイベントのオーケストラと合唱の音合わせ。明日が本番。昨年に続き、記録収 録として参加させて頂きますが、合唱曲「ふるさとの四季」を聴き、涙が出た。日本の言葉と風景、美しすぎる。西洋音楽賛美はやめようかなぁ。素直に日本人 になろう。

・ステージマネージャー　Ｉさん

本当にお疲れさまでした。どれ程滝沢さんにフォローして頂いた事か…忘れてはいけないのはあのホールスタッフの女性(お名前失念)。完全に我々サイドでアテンドして下さり、凄い戦力でした。あんな凄腕の方は中々いらっしゃいませんね。とにかく感謝。滝沢さんには今季少なくとも二回裏方でお世話になります。

・受付廻りスタッフリーダー　Ｎさん

関係者の皆様そして、とても元気な中学生の皆さんの熱気に煽られ、アッと言う間に過ぎた時間でした。私が接した範囲のお客様の反応は、とても良く、最後は募金の机の前にいたのですが、良かったと言って、二度も寄付して頂いた方もいらっしゃいました。残念に思ったのは、アンケートでお客様の反応をお聞きしたかったと思いました。押切さんのブースも盛況だった ようで、良かったと思いました。私は今日は、立川市民オペラの発表会のレセプショニストです。取りあえず昨日の御礼まで。

物産販売

・「コブシプロジェクト」Ｏさん

3/14 は「和光 3.11 を忘れないチャリティーイベント&コンサート」会場で、コブシプロジェクト支援グッズを出張販売させて頂きました。
石巻と首都圏のオーケストラ、合唱団のボランティア４００人の大合唱コンサート、心に響く歌声で素晴らしかったです！特に「カンタータ大いなる故郷石巻」鳥肌がたちました！客席も超満員、立ち見みもでる大盛況！昨年に引き続き、２回めの参加でしたが、パワーアップしたイベントに、関係者の皆様の志の素晴らしさを感じ、変わらぬ努力の結晶なのだと思いました。おかげさまで、持参した牡鹿半島のワカメは完売、コブシプロジェクトの支援グッズもたくさん売れました。立川市に避難されている皆様の笑顔が目にうかび、嬉しくなります。*¥(^o^)/*今日も一日、コンサートの感動と、心地よい満足感でいっぱいでした。ワカメの売上は「牡鹿半島を支援する会」に、その他の売上は「立川・東日本大震災避難者を支援する会」にお届けします。お貸しした私のボディには、防護服が飾られていました。思ったより生地が薄く、しかも繋ぎ目がガムテープでびっくり！ライダーレスキュー隊の方は装備をみせてくださいました。
「漂流ふくしま」の写真展・詩・短歌も心にぐっときました。開店準備の為、ゆっくり観れなくて残念でした。募金すると桜の花びらが配られ、メッセージを書いて咲くさくら募金は、みるみる美しい花を咲かせていました。素晴らしい機会を頂いた、和光 3.11 を忘れない実行委員会の皆様、ありがとうございました！心ある方々が集結し、伝わっているなぁ～と実感する素晴らしいイベントでした。 参加させて頂き、ありがとうございました！
今回、チラシをつくって頂いた効果も大きかったように思います。チラシを握りしめ、ニャンコ隊がほしいと来てくださる男性の方もいらっしゃいました。
参加したメンバーの感想です。
「皆さんの心ざしの素晴らしさが大盛況に繋がってましたね。くれぐれもよろしくお伝えください。」
「今も何か温かい気持ちの中で感動しています！お買上いただいたお一人お一人がイベントや活動の理解をしていたという実感に感動☆みなさん優しい笑顔でした！演奏曲☆音楽の力も加わり一体感も生まれて！今回の参加に際して、齋藤さんと古賀さんとお仲間に感謝☆」
「心ある人々の善意に触れて沢山感動を頂きました。企画者の熱い思いにはもちろん、和光市と言う街も中々やるなあ、と感動しました！」
皆、感動と感謝の気持ちでいっぱいです。*¥(^o^)/*イベントは、終わった後もやることが多いと思います。お体にはくれぐれもお気をつけて、これからのご活躍も楽しみにしております。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

ＰＳ－支援グッズの売上を計算しましたら、なんと￥71,200 でした！*¥(^o^)/*ワカメの売上￥6,000 は「牡鹿半島を支援する会」に、その他の売上￥65,200 は「立川・東日本大震災避難者を支援する会」にお届けします。

・「ＮＰＯ法人　緑の真珠・アスナロウの会」Ｙさん

昨日はお世話になりありがとうございました。素晴らしいイベントでしたね！皆さんのご努力で素晴らしいイベントになりました。最後を飾ったベートーベンの第９は、さすがに迫力がありました。堪能しました。

気仙沼唐桑地区の海産物の即売会も昨年に引き続き完売いたしました。

売上高は１２７９００円　仕入れ金額８６４２０円　利益４１４８０円となりました。

昨年が売り上げ５６５００円利益１６１１０円ですから大きく上昇しました。

利益金額は今年度予定しております、気仙沼唐桑地区で開催します

被災地チャリティーライブの音楽家の皆様の交通費に充当する予定です。

ありがとうございました！

・「３１１　有志」Ｋさん

売上精算報告です。

「クラシックの常識」　1600 円×5 冊＝8000 円

潮風のハーブティ　　864 円×50 個＝43200 円

その他商品など今回の利益、20650 円は「３１１有志」仮設訪問手土産資金とします。

《「完売したハーブティ」委託販売元からのメール》

・さんりく未来推進センター宮古支部　Ｏさん

潮風のハーブ園さまの窓口担当としてお手伝いをさせていただいております。この度は、ハーブティーの委託販売のご協力を頂きまして、ありがたく、また、潮風のハーブ園　代表　古舘富士子さまや私たちにとって、とても励みになり、感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、「和光３・１１」活動のご報告書と新聞記事拝見させていただきました。齋藤さまのご協力と、ご支援には、涙が出る思いです。さんりくに来ていただいていることを知りまして、ありがたく思います。自然災害は、誰にも止められず、どこにでも発生すること、わたしは知り、知っていただくことが、一番の防災と感じております。

あの東日本大震災より今日で４年・・・あの日を思い出されます。わたくしも、ちょうど４年前、その当時、岩手県の委嘱を受け沿岸広域振興局の食産業コーディネーターをしておりまして、その用務で、釜石におりました。地震後、釜石にある高台の薬師公園に避難し、釜石の街が飲み込まれる様を目撃しました。現実なのか、何が起こっているのか、当時は理解することが困難でした。この２～３年、被災した事業者さまや新たに事業を起こし起業をする方の多くは、街を良くしたい、自分たちでなにかしなければ、とこころざしのある方のお手伝いをさせていただき、とても勉強になり、また、いろいろなことを学ばせていただていております。中には、被災を狙う悪徳業者などもおり、残念と思う中、こ

れも、勉強と日々、修行を受けております。山田町でかきとほたてを養殖している方も、再開するに３年かかり、販売時には北海道産や広島産に販路を奪われ、現在、立ち上がったもの、現状の厳しさを日々、一緒に苦悩しております。さんりくの食材は、まだまだ知名度も低いため、まずは食べていただこうと、日々PR 宣伝のお手伝いをさせていただいております。今回、委託にて販売をしていただく、潮風のハーブ園　代表　古舘富士子さまは、山田町の漁協に勤めていた旦那様をなくされました。旦那様は、サケの稚魚をふ化場から、津波前に放流し、被害にあいました。津波による酸欠から稚魚を守るためだったようです。・・・その鮭が今年戻ってきて水揚げされました。その思いから、先祖代々の土地を古舘さまが守るため、以前趣味で販売していたハーブティーにて平成２５年度起業をいたしました。マスコミからは、言葉は悪いのですが、とてもいいネタだったようで、かなりメディアに取り上げられご本人様は、かなり疲労され、戸惑いもあり、心身ともに体調を崩されました。「起業の覚悟」を改めて認識し、また、それと同時に、明るさも取り戻し、現在、今年の新茶に向けてハーブ栽培の準備に手がけております。
齋藤さまのこちらのイベントのお話と、委託での販売に、こちらの事務所で、二人で涙しました。とても感激され、量より質にこだわった国産のハーブティー栽培に意欲を燃やしております。「人と人とのつながり」の必要性をあらためて、勉強させていただきました。
　長くなり大変恐縮ではございます。
　こんごともどうぞ、よろしくお願いいたします。

いつもありがとうございます。
この度は、潮風のハーブをすべて売っていただいたこと、大変ありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。古舘さまへご連絡をいたしました。
感極まって「きゃーありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございます・・・・・」と何度も何度も、口にしておりました。
齋藤さまのお力に、わたくしたちも、とても励まされております。
ご丁寧なレポートに、とても学ばせていただくところが多く、今後のわたしの活動に取り入れさせていただきたいと思います。年度末になりまして、気持ちがバタバタしておりました。初心に戻り、基本を見直して行きたいと思います。
どうぞ、今後ともよろしくお願いします。

観客

・Ｓさん（在京石巻市出身）

「修了演奏会の残り香の中（笑）昨日和光市で開催の被災者支援のチャリティーコンサートを観賞、色んな思いに溢れ不覚にも涙してしまった。後期高齢者から小学生まで参加する市民合唱団と市民オーケストラ。この中に夜行バスに乗って石巻から駆け付けた合唱団、楽器演奏者計約６０人もいた。
指揮者はあの大川小卒業生のプロ、ソリストもプロが入ってくれた。リハーサルを見たら正直アマチュアだから仕方がないかと思ったが、本番は完璧。底力に驚いた。聞き惚れて思いが交錯して落涙してしまった次第で、一緒に見に行った郷土大先輩にからかわれてしまった。参加者を交えた交流会にも参加、また新しい出会いも築けた。充実した一日だった。あらためて関係者各位のご尽力に敬服する。」

口ずさんでいるうちに泣けてきてダメでした。特に最後の「おおいなる石巻をたたえよー」で完全にワーと来ました。過去の思い出、自分が出演したことかが去来しました。懇親会で新田先生と話した時、楽譜とか波かぶってダメになったけど、市の図書館に預けてある分があるはずだから探してみると言ってました。私が出演した第一回はテレビ、映画、ＬＰとこれが最後と思われたので至れり尽くせりやりました。10 年ごとにやるとは当時思ってもみませんでした。実家は無事だったので捨てられていなければＬＰはまだあるはずです。実家に帰ったら聞き直してみようかと思ってます。
リハーサルを見てたらアマチュアだから仕方ないかな？と思ってましたが、本番は全く別人のような演奏、合唱である意味驚きました。皆さん本番に強いんですね。斎藤さん、ご苦労様でした。こんな素晴らしい一時を作っていただいて。大変な苦労だったと思います。来年またやるかと今言われると勘弁してという心境かもしれませんが、でまあえて期待します。また宜しくお願いします。斎藤さんもステージに立てたら良かったですね。

・Ｉさん(都内在住)

まず、２０１６年のイベントにも参加するつもりです。楽しみにしています。
今年のイベントは大成功でしたね。私もコンサート聞かせていただきましたが、実によかった。私の友人たちも感激していました。「この時期に聞く第９もいいね」と言っていましたが私も同感でした。「大いなる故郷石巻」もよかった。全曲聞きたくなりました。斎太郎節のところで指揮者が櫓をこぐしぐさをしたのは何とも言えず良かった。あれで客席とぐっと近づいた気がします。客席が満員になったので一体感が増したと思います。ここまで集客した皆さんのご努力に敬意を表します。
さぞかしお疲れになったことでしょう。ありがとうございました。

・Ｂさん（朝霞市在住）

忘れない 3.11 コンサート　和光市にてこれだけのイヴェントを和光市で開けるということに敬意を。「日本の四季」のふるさとの歌を聴きながら３年前の石巻の景色が思い出されて落涙しました。まだまだ復興には時間がかかるでしょうが忘れないで支えていきましょう。いっぱい「ブラヴォ」させてもらいました。ブラボー３回しました。(*'▽')。聞くところ皆さん夜行バスでお帰りとかお疲れでしょうね。次回はもう少し協力できればと思います。齋藤さんもお疲れ様でした。舞台上の知人を探すのが楽しみでした。西大和団地のＴ原さん、喫茶店のママさん、新座の合唱団長の方・・楽しそうでしたね。私の耳にはこの曲が一番よかったように思います。合唱の音程がまとまっていたのと日本語が生き生きとしていました。まるで図ったかのような曲後の祈りの時間でしたね。聴衆の皆さんの気持ちにも感動しました。石巻の方とお話したかったなあ。でも、また行きますからその時にはお会いできるかも。

・Ｅさん

素晴らしいコンサート、準備はどれだけ大変だったことでしょう。事後もきっといろいろありますよね。本当にお疲れ様です！！！ 結局６時過ぎに到着し、おにぎりを食べ時々会場に入りながらオケと大合唱団の音を満喫しました。 昼の作業もやはり娘連れでの参加にすればコンサートを最初から聴けたかな？とも思いましたが、まだまだ長丁場は無理でした^_^（ロビーで娘のところへ何回も来てくれた髪の長い女の子が齋藤さんのお孫さんだったのかな？もしかして？と今思いま　　（２０１５年3月１７日現在集計）

そして、「つながりカフェ」＆
２０１６年３月イベントへ始動！

3月２９日（日）「さくらの木」展示

和光市民文化センター「展示ホール」に、被災地や避難者へのメッセージを書いた花びらが咲いた「さくらの木」を展示。「さくら募金」５１３，８９４円集まる。

4月6日（月）「さくらの木」作者、上京。

上野の森美術館「写実画壇展」。「さくらの木」を描き、航空便で送って下さった奄美大島の画家、久保井博彦さんがこの展覧会役員。ご自分の作品も展示。会場は。「写実」とは言うが、作風は、必ずしも「リアル」「細密な模写」でもない９２点。終わってから、久保井さんを紹介頂いた友人と中華料理屋で会食。「薄謝」を差し上げようとしたが、受け取らず。

4月１０日（金）第１回「和光３・１１を忘れない実行委員会」

和光市社協で、「和光３・１１」実行委員会。いよいよ、来年３月に向けての第１回。２時間で、方向性は決まる。あとは各論へ。

4月２３日（木）「福玉会議」

午後 1 時半より、浦和での避難者や福島県や浪江町、大熊町、富岡町などの埼玉駐在支援員、支援者６０人の「福玉会議」。復興庁や東電 も参加。５時半近くまで、途中 20 分の休憩を挟んでの様々な参加者からの取り組み報告は大変勉強になる。今回は、和光市社協ボランティアセンターメンバー と一緒。終始中央で司会している「事務局長N氏」を見て、「いつも和光３・１１ながりカフェに来て頂いているNさんって、偉いんですねえ。」。終わってから、福島市から来た福島県職員や、浪江町から避難してきている方々と、浦和レッズ応援団のたまり場で、「乾杯！」。

4月１９日「和光３・１１合唱会議」

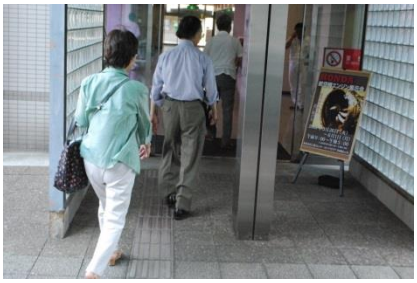
５時半より「和光３・１１を忘れない合唱会議」。すでに実行委員の数人は来ていた。先のコンサートで数名以上参加頂いた合唱団へ声をかけたが、第９の会な どは、まだ休眠中。結果、特に来て頂きたかった２組５人が参加。当初の予定を１時間以上超え、今回のコンサートの感想と、問題点や成果と、来年３月の企画 への意見などが飛び交った。そこには、様々な来年３月へのヒントや鉱石が。磨けば光りそう。

その後、先般のコンサートのＤＶＤを短時 間上映し、参加者に「プレゼント」。備え付けマイクからの録音と様々な写真の組み合わせで、臨場感溢れ、一同感心。全て終わってから、実行委員だけで「反省会」。

5月7日（木）第２回「和光３・１１を忘れない実行委員会」

朝 10 時から 11 時半まで、「和光３・１１を忘れない実行委員会」。
当面の６月 13 日「和光３・１１つながりカフェ」の内容が固まる。弁護士による 「悩み事相談」と、シニア管楽器バンドの演奏。手打ちそばの昼食。（左記）
また、今年３月のさくら募金、約 50 万強の目録を和光市社協理事長へ贈呈。
既に先月中に 送金済み。
そして、来年３月のイベント企画も、一定具体化。
但し、開催日によっては、企画内容が大きく変わるので、確定を急ぐべく、和光市文化振興公社へ行き、理事長と常務理事へ「要望書」を提出。

5月２７日（水）和光市文化振興公社訪問



午後から、来年３月の事業計画書、予算書、そして企画書を持って、「和光市文化振興公社」へ、実行委員長と実行委員、そして私で訪問。先に訪問して要望した件は、大きく前進。しかし、まだ、日程の確定できず、公社回答待ち。

6月３日（水）第３回「和光３・１１を忘れない実行委員会」

朝９時すぎから「和光３・１１を忘れない実行委員会」。６月１３日の「和光３・１１つながりカフェ」の参加者状況や、進行内容確認。１５人前後の東北から の避難者を、我々以外の支援者数名、アマバンド１０名ほどに。メインは弁護士との「困りごと」「悩み」相談。また、当日のイベント目印に「のぼり」を直ち に作成する。見本は、「わしゃもん」マークの社協のデスクのぼり。続いて、来年３月「和光３・１１」イベントの日程が流動的なため、こちらも柔軟に３つ以上の企画案を練りつつ、和光市や和光市文化振興公社へ「共催」を粘り強く呼びかけることにした。

６月７日（日）和光市民オーケストラ「ファミリーコンサート」

２時から、和光市民オーケストラ「ファミリーコンサート」。招待葉書紛失で、入場料払って会場へ。まだ観客が入場している、ざわつく会場で、「ロビーコン サート」風、モーツアルト「クラリネット五重奏曲」。チェロは、オケのチェロトップで、浦和の合唱団のアルトもこなす、私の「先生」。（といっても、私よ りはるかに若いが）。会場最後列で、オケ団長（「和光３・１１」実行委員長）も、自らビデオを構える。

そして、本番。前プロは、同じくモーツアルト攻め。歌劇「魔笛」序曲、そして交響曲第 41 番「ジュピター」。休憩はさんで後プロが、一変。ビゼー「カルメ ン」「アルルの女」シュトラウス親子「ピツィカート・ポルカ」、そしてチャイコ「花のワルツ」。つまり、弦楽器、管楽器、打楽器、そしてハープが、それぞ れ、曲によって大活躍のアラカルト。

指揮者岸本祐有乃さんは、親に音楽傾斜を反対され、東大理系女子。でも音楽やりたくて博士号返上し、芸大指揮科、ウ イーン国立音大指揮科を出て、海外で活躍、ピアノソロコンサートもこなす、という才女、とは見えない笑顔の絶えない、柔らかな指揮。演奏自体は、各楽器とも、

難しいフレーズも、無難にこなし、大きな破綻もなく、終るごとに拍手とともに、「ブラボー」の声も。

１３日（土）（その１）「第４回　和光３・１１つながりカフェ」

１１時から、石巻、南相馬、仙台などから和光市近隣（といっても川越や成増）の避難者の方々と支援者、３０人。まずは、自己紹介。支援者の大半も、宮城、　福島に関係。今回の目玉は、弁護士をお呼びしての「何でも困りごと相談」。でも、最初は、誰も困りごとを口に出さないので、司会の私が、「誘導尋問」。特 に住宅問題。すると、各人各様ながら、現在の住まいから恒久的な住まいへの展望が見えない、とか、災害復興住宅というアパートでは、新たな人間関係が出来 るとは思えず、孤立が不安・・・などなど。幸い、津波で家屋を流された方々も、登記簿謄本などを金庫に入れ、無事だった、など、法律上の悩みを相談、とま では行かなかった。昼食は、和光市と提携している新潟、十日町のてんぷらそば。ＢＧＭは、平均年齢８０歳？というバカモンド楽団。３時前終了。

（その２）福島県広野町からの避難姉妹とカフェ

夜までの時間つぶしにと、和光市内のカフェ「ツーテンジャック」へ。すると、昨日、近所へ広野町から避難している一家が来てちょっとしたパーティをやった、とママ。そして、すぐに電話で呼び出す。すると、５分後に元気一杯の姉妹登場。広野町は帰宅可能地域とされ、賠償金もない。しかし、姉妹にとっては、　和光市の便利さも実感し、除染効果も疑わしく、幼児もいるの

で、甲状腺がんが怖いし、友人も帰還していない元の町へは帰れない、などと雑談。Ｊビレッジで、マミーすいとん食べた話やらしながら、私の元部下のいわき支社の双子の片方が東電第１原発案内嬢だったというと、なんと、実は３・１１の４ヶ月前に東 電を辞めた姉と、同期入社だった！また、７月下旬、「相馬祖野馬追」見物ツアー３０名で前日宿泊するいわき湯本温泉「古滝屋」をチラシで見て、「え！私が 借りているアパートのすぐそばなの、この旅館」。なので、当日、３０人の懇親会にご招待した。あっと言う間の１時間半。

６月１４日（日）「ふるさと福島に寄せて」コンサート

主催も「おとのきずな実行委員会」。後援は、東京福島県人会。
直前まで「観客の入りが悪い」との話だったので、のんびり入ると、入り口では「当日券無し」。確かに会場は最前列、そして２階袖席まで満席！主催者の挨拶でも、これまで８回の公演で、最も観客が集まった、と喜んでいた。「和光市民合唱団」仲間も７人来てくれた。

さて、前半は、ソプラノ、アルトのソロ。後半は、和光３・１１コンサートに出演頂いた「安積フィメールコール東京」と、本拠地郡山からの応援の「安女」メンバー計４０人の、全て１２曲暗譜で の合唱。さすが！テーマは、手足の不自由さを克服し、口で絵や詩を書く星野富弘氏の素朴な、分かり易い歌詞。そして、どの曲も、悲しみ、喜び、生きる。４時終了。

６月１９日（金）　福玉会議

浦和のときわ会館。「福玉会議」。避難者、大熊・富岡・浪江町や福島県・宮城県の支援員、支援者、生協、労金、復興庁、東電 など 50 名。１時半から５時まで、びっしり。特に長時間の質疑は、「仮設・借り上げ住宅の供与期間の１年間延長」を巡ってのいくつかの疑問。ひとついえる ことは、「長期戦」を強いられることは必至、ということ。もう５年、だが、来年のことも、あと数十年先も見えない。希望が無い。もがき苦しむ被災者・避難 者の現実がある。

６月２５日（木）和光３・１１を忘れない実行委員会

午前１０時から１１時半。お互い、マイナス発言のない、気の合った仲間。主に、先般終えた「つながりカフェ」、来年３月のイベントの話。さらに、１１月中旬、大きな「３・１１イベント」を開催することに。一方、今回、実行委員長交代。和光市在住者へ。これまで所沢在住の実行委員長は、「芸術監 督」。実質は変わらない。なお、私も、和光市民ではないので、事務局長から降ろして、と言ったら、「和光だけでなく、近隣のイベントだから問題ない」と却下された。
その後、「和光市文化振興公社」へ。そっちの方針が決まらんとこっちも今月締め切りの助成申請も出せん、と。　　以　上